



平成29年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月15日

上場会社名 株式会社ビューティ花壇 上場取引所 東
 コード番号 3041 URL http://www.beauty-kadan.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三島美佐夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 田口絹子 (TEL) 096-370-0004
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	4,385	0.9	△7	—	△21	—	△35	—
28年6月期第3四半期	4,346	△11.8	78	52.6	86	228.2	40	—

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 △35百万円(—%) 28年6月期第3四半期 35百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	△8.74	—
28年6月期第3四半期	9.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第3四半期	2,791	514	18.2
28年6月期	2,884	572	19.6

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 508百万円 28年6月期 565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	5.55	5.55
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	5.55	5.55

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	0.6	95	△25.0	105	△23.4	75	△0.5	18.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 株式会社ピンク

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期3Q	5,076,000株	28年6月期	5,076,000株
② 期末自己株式数	29年6月期3Q	1,026,552株	28年6月期	1,026,552株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期3Q	4,049,448株	28年6月期3Q	4,214,345株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年7月1日から平成29年3月31日まで)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策を背景に、企業収益や雇用情勢は改善傾向が見られました。

一方海外におきましては、米国新大統領就任に伴う経済政策の転換、英国のEU離脱問題、新興国経済の成長鈍化等海外経済の不確実性が高まるなど、景気は先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、葬儀の1件あたりの単価下落、直葬の増加傾向にある事業環境に対応すべく、「業界のコストリーダー」として生産規模や販売規模、原料調達などの物量を拡大させること等を基本方針とする中期経営計画のもと、各施策を実行してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、4,385,332千円(前年同期比0.9%増)、営業損失は生花祭壇事業における単価下落への対応は奏功し始めたものの、生花卸売事業における組織再編等による販管費の増加やその他事業における売上減等により、7,063千円(前年同期は78,197千円の利益)、経常損失は21,320千円(前年同期は86,317千円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は35,387千円(前年同期は40,095千円の利益)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、2,449,603千円(前年同期比5.6%増)となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の平成28年7月から平成29年2月までの売上高は410,617百万円(前年同期比0.4%減)、取扱件数は289,101件(前年同期比0.9%増)と引き続きこの数年での傾向といたしましては、大都市圏を中心として取扱件数は増加しつつも売上は増加、若しくは横ばいで推移(葬儀単価は低下)している状況です。

このように高齢化にともない、死亡者数が増加傾向にある中で、葬儀業全体では市場は拡大傾向にありますが、葬儀業における各カテゴリー(葬祭専門事業者、冠婚葬祭業者、農業協同組合、新規参入事業者等)別や地域別にみるとその状況は均一ではありません。特定のカテゴリー事業者や地域では社会構造の変化に伴い、消費者の価値観やニーズも急激に変化が進んでおり、特に大都市圏における「家族葬」や「密葬」等葬儀の小型化とともに単価の下落傾向が続いております。このような状況の中で、当事業では売上拡大策として、千葉県成田市に成田営業所を新設(平成28年9月)し、市場シェアの拡大を図っております。この結果、営業利益は269,284千円(前年同期比18.1%増)となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業は平成28年7月1日付で100%子会社であるマイ・サクセス株式会社へ会社分割し、従来より進めている業務効率化に加え、当社グループとしての更なる競争力強化を図っております。このような状況の下、売上高は1,220,386千円(前年同期比4.7%減)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(平成29年3月)によると、平成28年7月から平成29年3月までの切花累計の取扱金額は46,148百万円(前年同期比0.4%減)、数量では686百万本(前年同期比1.0%減)と金額・本数ベースともに減少傾向にありました。

前述のとおりマイ・サクセス株式会社へ会社分割、従来の生花卸売事業(国内流通)と生花祭壇事業とのシナジー追求を図りながら抜本的な物流体系の改革へ向けた取り組みにも注力していることから、営業損失は3,327千円(前年同期は90,834千円の利益)となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は関東エリアにおける件数減の影響もあり、343,997千円(前年同期比3.6%減)となりました。少子化と晩婚化、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届のみの結婚の増加等により、市場規模は縮小傾向にあるものの、ゲストハウス・ウェディングやレストラン・ウェディング等オリジナル挙式志向の高まりを背景に一定の市場規模が保持されております。ブライダル装花事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerでは、これらの多様なニーズに対応した各営業施策を実行しておりますが、上記売上減の影響もあり、営業利益は31,648千円(前年同期比22.3%減)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業、不動産管理事業、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、一般労働者派遣業、就労継続支援事業を行っております。当第3四半期連結累計期間においては、各事業ともに総じて回復基調にはあったものの、システム開発事業が低調に推移し、売上高は371,345千円（前年同期比4.9%減）、営業損失は28,014千円（前年同期は13,595千円の損失）となりました。システム開発事業は、葬儀関連会社に対する基幹システム、名札書きシステム及びモバイル端末を用いた電子カタログや建築事業者に対するCADシステムの開発を行っております。不動産管理事業は、不動産の取得、処分、賃貸等の仲介及び管理を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ92,614千円減少し、2,791,769千円となりました。これは主に現金及び預金の減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ34,924千円減少し、2,277,217千円となりました。これは主に、長期借入金、未払金及びリース債務の増加の一方で、短期借入金の減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ57,690千円減少し、514,552千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち、決算日が3月31日であったマイ・サクセス株式会社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について連結上必要な調整を行ってまいりました。

この度、平成28年7月1日を効力発生日として当社の生花卸売（国内流通）事業を会社分割し、マイ・サクセス株式会社に承継したことを契機に、連結財務諸表のより適正な開示を図るため、第1四半期連結会計期間より、連結決算日に本決算に準じた仮決算を行う方法に変更しております。

この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間は平成28年4月1日から平成29年3月31日までの12ヶ月間を連結し、連結損益計算書を通して調整しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,096,736	1,019,923
受取手形及び売掛金	595,632	550,960
商品	17,961	18,728
仕掛品	5,536	11,109
原材料及び貯蔵品	21,521	36,099
繰延税金資産	13,501	16,556
その他	125,781	126,351
貸倒引当金	△3,841	△3,577
流動資産合計	1,872,829	1,776,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	439,593	495,099
減価償却累計額	△199,265	△212,084
建物及び構築物(純額)	240,328	283,014
車両運搬具	110,320	133,411
減価償却累計額	△50,393	△42,340
車両運搬具(純額)	59,926	91,070
工具、器具及び備品	193,366	197,980
減価償却累計額	△164,073	△166,827
工具、器具及び備品(純額)	29,293	31,153
土地	200,859	200,859
その他	15,993	11,065
減価償却累計額	△3,597	△4,308
その他(純額)	12,396	6,756
有形固定資産合計	542,803	612,854
無形固定資産		
のれん	54,059	38,895
その他	32,928	40,468
無形固定資産合計	86,988	79,363
投資その他の資産		
投資不動産	16,145	16,145
差入保証金	165,694	83,262
繰延税金資産	25,479	19,606
その他	186,495	329,571
貸倒引当金	△12,052	△125,187
投資その他の資産合計	381,763	323,399
固定資産合計	1,011,555	1,015,617
資産合計	2,884,384	2,791,769

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	220,087	206,751
短期借入金	335,003	138,000
1年内返済予定の長期借入金	395,652	416,536
1年内償還予定の社債	7,100	7,100
未払金	70,818	96,315
未払法人税等	13,605	35,651
賞与引当金	10,030	23,406
その他	211,503	185,412
流動負債合計	1,263,799	1,109,174
固定負債		
社債	42,900	35,800
長期借入金	901,052	988,194
リース債務	64,389	90,872
退職給付に係る負債	31,379	43,043
その他	8,621	10,133
固定負債合計	1,048,343	1,168,043
負債合計	2,312,142	2,277,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	142,056	142,056
利益剰余金	439,098	381,391
自己株式	△228,633	△228,633
株主資本合計	565,760	508,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17	9
その他の包括利益累計額合計	△17	9
新株予約権	6,489	6,489
非支配株主持分	10	-
純資産合計	572,242	514,552
負債純資産合計	2,884,384	2,791,769

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	4,346,035	4,385,332
売上原価	3,541,855	3,642,688
売上総利益	804,179	742,644
販売費及び一般管理費	725,982	749,708
営業利益又は営業損失(△)	78,197	△7,063
営業外収益		
受取利息及び配当金	733	245
為替差益	1,185	-
受取賃貸料	5,140	4,558
その他	33,667	12,608
営業外収益合計	40,727	17,412
営業外費用		
支払利息	17,418	15,433
不動産賃貸費用	3,653	6,949
為替差損	-	4,587
その他	11,534	4,698
営業外費用合計	32,606	31,668
経常利益又は経常損失(△)	86,317	△21,320
特別利益		
固定資産売却益	20	-
受取保険金	13,740	-
受取損害賠償金	-	118,664
子会社株式売却益	-	34,571
その他	2,850	-
特別利益合計	16,611	153,236
特別損失		
固定資産除売却損	236	84
災害による損失	2,359	-
リース解約損	1,458	920
貸倒引当金繰入額	-	117,391
特別損失合計	4,055	118,395
税金等調整前四半期純利益	98,874	13,520
法人税、住民税及び事業税	49,823	45,998
法人税等調整額	8,955	2,907
法人税等合計	58,778	48,905
四半期純利益又は四半期純損失(△)	40,095	△35,385
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	40,095	△35,387

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	40,095	△35,385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66	27
為替換算調整勘定	△4,113	-
その他の包括利益合計	△4,179	27
四半期包括利益	35,916	△35,358
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,915	△35,360
非支配株主に係る四半期包括利益	0	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,318,697	1,280,008	356,713	3,955,420	390,614	—	4,346,035
セグメント間の内部売上高又は振替高	317	753,682	5,750	759,750	9,859	△769,609	—
計	2,319,015	2,033,690	362,464	4,715,170	400,473	△769,609	4,346,035
セグメント利益又は損失(△)	228,095	90,834	40,756	359,687	△13,595	△267,894	78,197

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業と不動産管理事業、冠婚葬祭事業者向け人材派遣業、並びに冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業ならびに就労継続支援事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△267,894千円には、セグメント間取引消去42,168千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△310,063千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、報告セグメントとして開示しておりました「土木・建設事業」は、平成27年5月27付けで当事業を行う昇建設株式会社の株式を譲渡したことに伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを廃止いたしました。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,449,603	1,220,386	343,997	4,013,987	371,345	—	4,385,332
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,087	759,664	6,739	769,491	8,344	△777,835	—
計	2,452,691	1,980,050	350,737	4,783,479	379,689	△777,835	4,385,332
セグメント利益又は損失(△)	269,284	△3,327	31,648	297,604	△28,014	△276,654	△7,063

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、不動産管理事業、冠婚葬祭事業者向け人材派遣事業、並びに冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業ならびに就労継続支援事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△276,654千円には、セグメント間取引消去47,130千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△323,785千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。